



レオタイト工法



レオタイト工法は、人工芝舗装の下地舗装に、碎石路盤舗装を採用したり、既設クレイ舗装グラウンドの表層材を再利用したりする場合に、下地舗装に表面固定材を散布することによって、表面を安定させ、施工中・施工後に下地に不陸が生じないように平坦性を保持する工法です。

人工芝下地舗装 表面固定化工法

1. 衝撃吸収性が高くなり、安全性が向上
2. 蓄熱性が低減され、夏場の暑熱環境を抑制
3. 発生残土を抑制し、環境負荷・コストを低減

* スポーツターフハ(ラムダ) は、レオタイト工法を採用

